

# 令和4年6月三田市議会定例会(第366回) 一般質問発言通告一覧

(第3日・6月13日 個人質問)

## 22番 厚地 弘行 <一問一答>

### 1 太陽光発電施設による災害予防について

- (1) 太陽光発電施設の防災上の総点検の結果について、自己点検については信頼できるものなのかどうか。
- (2) 市内にもメガソーラーが外国資本によるもので問題点が指摘されている。市は開発の経緯や現在の状況について把握しているか。また外国資本による開発について安心できるものと市は考えているか。

### 2 第三次地域福祉計画の策定について

- (1) 第二次地域福祉計画にある地区別計画の進捗について、地域ごとの課題は届けられるか、地域ごとの活動団体ネットワークはできているか。その他の課題についての考え方を問う。
- (2) 第三次の計画を策定するにあたり、アンケート結果からの考察と見通しはどうか。
- (3) 地域福祉計画の必要性、重要性についての市の考え方をたずねる。

### 3 市民病院の再編統合案について

- (1) 市民病院統合の提案に至る経緯と内容、他の自治体の類似した施設の比較検討、市民参加の状況、総合計画との整合性、関係する条例や法令、実施に要する財源処置、将来にわたるコスト計算についてたずねる。

## 4番 福田 佳則 <一問一答>

### 1 今後の子育て支援について

- (1) 妊婦健康診査費助成事業の拡充について。
- (2) ヤングケアラーの実態把握に向けた取り組みについて。
- (3) 「リトルベビーハンドブック」の認識と導入について。

### 2 日常生活での障害者支援について

- (1) 日常生活用具の給付における世帯要件緩和などについて。
- (2) 「デジタル障害者手帳」の公共施設での利用について。

## 5番 井上 昭吾 <一問一答>

### 1 さんだ観光ガイドの育成について

- (1) さんだ観光ガイドは平成20年(2008年)20名で発足してから高齢化が進み、現在では10名ほどに減少していますが、観光客のおもてなしには欠かせない存在です。ガイド1期生は希望者を一般市民から公募し、市が月1回程度の研修を実施して発足したと聞いていますが、観光ガイドの後継者育成について、市の考えをお聞きます。

### 2 インバウンドを見込んだ観光施策について

- (1) 世界経済フォーラムで日本は観光地としての魅力度で世界第1位になりました。コロナ後を見据えて、それぞれの自治体がインバウンド呼び込み知恵を絞っていますが、本市も地域の持つ

観光資源を活かした施策を進める必要があります。他の地域にはない本市ならではのインバウンド観光施策について、市の考えをお聞きします。

3 歴史資料収蔵庫の収蔵品の活用について

(1) 歴史資料収蔵庫に収蔵されている市民意識の醸成に資する貴重な展示物や歴史資料の見せ方は重要な課題ですが、市の考えをお聞きします。

4 「中学生版 私たちのまち三田」の作成について

(1) 記憶力や理解力が高まる中学生の時期での郷土教育は重要かつ効果的です。小学校で使用する郷土教育テキスト「わたしたちのまち三田」の内容を発展させた「中学生版 私たちのまち三田」をデジタル教材として作成し、教員のデジタル利活用能力を高めながら生徒の郷土への愛着を育むことについて、市の考えをお聞きします。

5 上野台・八景中学校の再編準備会について

(1) 上野台・八景中学校の統合再編による新設中学校について市民の期待が集まっています。市が目指す新しい学校像や跡地の活用など、すぐに議論できることは十分な時間をかけて議論を尽くす必要があると思いますが、再編準備会（仮称）の構成メンバーや開催の時期等、今後の流れについてお聞きします。

6 サニタリーボックスの公共男性用トイレへの設置について

(1) 前立腺がんや加齢などで日常的に尿漏れパッドを付ける男性が増えており、LGBTQの方への配慮という側面もあり、設置する自治体が広がりを見せています。未曾有の高齢化に備え、自分事として高齢化問題を意識する契機とするためにも、公共男性用トイレへのサニタリーボックス設置を検討すべきだと思いますが、市の考えをお聞きします。

## 20番 松岡 信生 <一問一答>

1 原油価格・物価高騰に対する取り組みについて

(1) 当該臨時交付金等の活用を含む「暮らしを守り抜く」対応について。  
(2) 生活支援をはじめ福祉施設関係及び産業支援の考えについて。

2 市民病院の再編統合について

(1) 済生会兵庫県病院との再編統合を決断した思いについて。  
(2) 全市民に理解を得るための取り組みについて。  
(3) 新病院整備に関する諸課題への対応等について。

3 時代の変化に即したまちづくりについて

(1) フラワータウン地域の道路空間及び土地利用の弾力的運用について。  
(2) ラウンドアバウト整備に向けた考えについて。

## 12番 大西 雅子 <一問一答>

1 複雑・複合化した福祉課題への対策について

(1) 市民に分かりやすい取組にすることと、更に複雑・複合化した課題に対応する体制について。  
(2) 多種多様な若者ケアラーの問題に対する支援はどのように進めていくのか。  
(3) 共生社会の実現に向けた地域づくりについて。

2 地域で支え合う防災対策について

(1) 避難行動要支援者への個別支援計画の進捗状況と今後の取組について。

(2) 災害時において地域の繋がりにより、誰一人取り残さない支援対策について。

### 3 職員の働き方改革について

(1) 三田市特定事業主行動計画の取組の課題と成果について。

(2) 今までの働き方改革の経過を踏まえた取組について。

(3) 現事業の削減や簡素化できるものへの見直しについて。

## 1 番 林 政徳 <一問一答>

### 1 三田らしい活力と交流の推進における、2025年日本国際博覧会（略称「大阪・関西万博」）開催の活用について

(1) 関西広域連合として出展されるパビリオンへの参画について。

(2) 万博開催までのイベント開催の計画について。

(3) 万博参画に向けての交通機関等の整備について。

(4) 万博参画に向けての民間との連携について。

(5) 万博開催までの関わりとその後の三田市への影響について。

### 2 さんだ里山スマートシティ構想におけるメタバース市場の活用について

(1) メタバース市場の研究について（メリットとデメリット）。

(2) 三田市の広報への取り組みにメタバース市場を活用できないか。